

大会名 Competition	第24回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-105	Year Month Day Time 2011 年 5 月 3 日 16 : 30
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B					
沼津中央	<table border="1"> <tr><td>11 1st 12</td></tr> <tr><td>16 2nd 21</td></tr> <tr><td>25 3rd 12</td></tr> <tr><td>23 4th 15</td></tr> <tr><td>OT</td></tr> </table>	11 1st 12	16 2nd 21	25 3rd 12	23 4th 15	OT	能代工高
11 1st 12							
16 2nd 21							
25 3rd 12							
23 4th 15							
OT							
75 ○		60 ●					

主審:Referee 北沢 岳夫 (岩手県)
副審:Umpire 高城 邦弘 (宮城県)
副審:Umpire 高根 聡 (秋田県)

テーブル・オフィシャルズ:Table officials
能代高校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	反町 駿太	cap	2	0	1	0	0	4	×	志水 一希	CAP	5	0	2	1	1
5	×	川口 颯		4	0	2	0	2	5	/	中村 正也		7	0	3	1	5
6	×	清水 亮		0	0	0	0	2	6	×	溝坂 太成		2	0	1	0	1
7	/	鈴木 聖也		7	0	3	1	2	7	/	田中 浩喜		4	0	2	0	1
8	/	山口 夏希		3	0	0	3	0	8		伊藤 健太		-	-	-	-	0
9		長坂 卓哉		-	-	-	-	0	9	/	中山 祐樹		6	0	3	0	4
10	×	石川 知樹		11	1	3	2	2	10	×	熊谷 慎也		2	0	1	0	2
11	/	小松 京太		6	1	1	1	1	11	/	秋葉 真司		0	0	0	0	0
12		村上 友哉		-	-	-	-	0	12	×	野里 惇貴		11	0	5	1	1
13		鈴木 康平		-	-	-	-	0	13	/	土屋 真人		5	1	1	0	1
14	/	望月 孝祐		0	0	0	0	0	14		金田 海郷		-	-	-	-	0
15	×	ソウ シェリフ		42	0	16	10	3	15	/	中島 強太		3	1	0	0	4
16		砂川 剣人		-	-	-	-	0	16	/	松本 大河		13	1	5	0	4
17	/	岡田 雄三		0	0	0	0	0	17	×	佐々木 健登		2	0	1	0	3
18		山口 力也		-	-	-	-	0	18	/	小田桐 匡志		0	0	0	0	0
コーチ		杉村 敏英							コーチ		佐藤 信長						
Aコーチ		駒形 潤治							Aコーチ		平山 智哉						
合 計				75	2	26	17	12	合 計				60	3	24	3	27

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

試合開始時のディフェンスは両チームともマンツーマン。沼津中央は#15ソウのローポストにボールを集め、能代工のダブルチームをものともせず強引にシュートをねじ込んで行く。能代工は沼津中央の粘り強いディフェンスの前にシューターがノーマークになれず、得点が伸びない。開始6分で沼津中央11-2能代工となると、能代工は#9中山、#13土屋を投入。この交代が功を奏し、#9中山が絶妙のアシストでチームに流れを呼び込む。ディフェンスの足も動き始めた能代工はスリークォーターから2-1-2のゾーンプレスを仕掛けて相手のミスを誘発、立て続けにスティールから速攻を決め、11-12と逆転に成功して第1Qを終える。

第2Qも試合は能代工ペース、ルーキーの#16松本がリバウンドやルーズボールによくからみ得点、守っては変則のマッチアップゾーンで沼津中央#15ソウを二人がかりで押さえ込む。最大10点差までリードを広げた能代工だが、激しいディフェンスでファウルがかさみ始め、沼津中央はフリースローでじわじわと追い上げる。沼津中央27-33能代工とロースコアの展開で前半が終了。

第3Qになると沼津中央は能代工のゾーンディフェンスに対応し始め、#15ソウのインサイド、#10石川の3Pなどで開始3分で36-35と逆転する。タイムアウトで立て直した能代工は#7田中、#12野里のジャンプショットで食い下がるが、インサイドのディフェンスで奮闘していた#5中村が4ファウルとなるなど苦しくなる。沼津中央はフリースローで着実に加点、52-45とリードを奪って第3Qを終える。

第4Qになると、ファウルがかさんだ能代工に対し沼津中央は#15ソウにボールを集めインサイドで手堅く得点する。粘る能代工は#16松本の3P、#17佐々木のジャンプショットなど1年生の活躍で食い下がる。残り2分、7点リードでタイムアウトを請求した沼津中央は、前がかりになった能代工のディフェンスの裏をついて終盤に次々と加点、能代工を突き放す。沼津中央75-60能代工で試合終了、初出場の沼津中央が全勝を守って初日を終えた。